

福智町議会の窓 議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

2020.9
Vol. 50



表紙 伊方小学校
(場所:福智町伊方)

主な
内容

議決結果

常任委員会報告

一般質問(7議員)

表紙紹介・金田義務教育学校新校舎・編集後記

2・3

4・5

6～13

14

議決結果

令和2年

第2回福智町議会定例会

【会期6月5日～16日】

〔定例会審議内容〕

令和2年（2020年）第2回福智町議会定例会が6月5日（金）から6月16日（火）の会期で開催されました。定例会は、議長・町長・各委員会・教育長施政方針などの報告に続いて、令和元年度予算の繰越報告、令和2年度一般会計補正予算（第2号）・地方税法改正に伴う条例改正などの専決処分、令和2年度一般会計補正予算（第3号）、議会会議規則の改正など、報告2件・専決処分の承認4件・条例改正2件・補正予算2件・訴訟の和解1件・発委1件は、すべて可決・承認されました。

また、一般質問は7名の議員が、町の施策や考え方について問いただしました。

《専決処分の承認》

令和2年度一般会計追加補正予算（第2号）23億1949万1千円を承認！

国の令和2年度補正予算が決定したことに伴い、緊急に行う新型コロナウイルス対策に要する費用分の国庫補助金23億1412万8千円に加え、基金からの繰入金536万3千円をもとに、町民一人10万円給付する、特別定額給付金22億5130万円や子育て世帯への臨時特別給付金3039万円など、追加補正23億1949万1千円の専決処分が承認されました。

なお、今回の追加補正により令和2年度の歳入歳出総額は、それぞれ175億5139万2千円となっています。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成17 反対0》
議長は除く

すべてのひとり親家庭に対し公平な住民税制などを承認！

地方税法等を改正する法律が令和2年3月31日に公布されたことに伴い、婚姻歴の有無や性別にかかわらず、生計を一にする子（前年の所得金額が48万円以下）を有するひとり親について、同一のひとり親控除30万円を適用。また寡婦について、寡夫同等税負担となるよう、前年の所得金額500万円以下の所得制限を設けた条例の専決処分が承認されました。

なお、令和3年度の個人住民税から新たに適用されます。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成17 反対0》
議長は除く

新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少事業者等への徴収猶予特例を承認！

新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和2年2月以降前年同期と比べて収入が20%以上減少し、納税することが困難な事業者等に対し、無担保かつ延滞金なしで1年間徴収を猶予できる特例も設けられています。

対象は、令和2年2月1日から令和3年1月31日までが納期の地方税となっています。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成17 反対0》
議長は除く

国民健康保険税税限度額引き上げを承認！

地方税法等が改正されたことに伴い、福智町国民健康保険税課税限度額が96万円から99万円に引き上げられる条例及び所得による健康保険税の軽減措置の判定方法の改正による軽減対象者の枠を拡大する条例の専

決処分が承認されました。

なお、この条例の施行は、令和2年4月1日からとなっています。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成17 反対0》
議長は除く

《一般会計補正予算》

令和2年度一般会計追加補正予算（第3号）1億7805万1千円を可決！

新型コロナウイルス対策に要する経費など地方創生臨時交付金1億4559万円、子ども・子育て支援給付金821万4千円、鳥獣被害総合対策交付金388万3千円、基金繰入金1924万2千円などの歳入をもとに、新型コロナウイルス感染症対策町内事業者支援金6400万円、子ども応援臨時給付金2976万円、ひとり親家族等への臨時給付金1905万円、70歳以上への臨時給付金（敬老祝い金3千円上積み）1903万5千円、高齢者安全運転支援装置設置促進事業補

議決結果

令和2年

第2回福智町議会臨時会

【会期7月30日の1日】

〔臨時会審議内容〕

令和2年（2020年）第2回福智町議会臨時会が7月30日（木）に開催されました。臨時会では、専決処分2件、補正予算1件、工事請負契約1件を審議しました。その結果、議案はすべて可決承認されました。

《専決処分の承認》

令和2年度一般会計追加補正予算（第4号）210万8千円を承認！

梅雨の降雨により災害を受けた、道路7カ所をはじめ、河川・公共用施設の災害復旧費に要する工事請負費、測量設計委託料など、追加補正2110万8千円が承認されました。

《一般会計補正予算》

令和2年度一般会計追加補正予算（第5号）5億5670万2千円を可決！

新型コロナウイルス対策に向けた町内8校の児童・生徒及び教職員分の情報機器（タブレット）購入費2億5709万4千円など5億5670万2千円の追加補正が可決されました。

《工事請負契約》

五反田（金田人見）排水機設置工事契約を可決！

果施行の人見橋架け替え工事に伴い、今回の移設工事を機に排水能力を向上させた排水ポンプを設置する工事契約が可決されました。

□五反田排水機設置工事契約金額
3億1277万6200円

工期 令和2年7月31日～令和3年3月19日

業者名

㈱ケイ・イー・エス 直方支店（支店長 三矢健嗣）

【審議結果】

出席議員17名
4議案全て可決
可決《賛成16 反対0》
議長は除く

助金50万円の支出など、追加補正1億7805万1千円を可決しました。

今回の追加補正により令和2年度の歳入歳出総額は、それぞれ177億2944万3千円となっています。

【審議結果】

出席議員17名
可決《賛成15 反対1》
議長は除く

《条例改正》

国民健康保険条例の一部改正を承認！

国民健康保険の被保険者で、新型コロナウイルス感染症に感染、または発熱等の症状があり感染を疑われる被保険者等に対し、収入がなくなるにより生活が困窮することを防ぐため、傷病手当金を支給する条例です。

○対象者Ⅱ新型コロナウイルス感染症に感染、または発熱等の症状が疑われる人で療養のため仕事を休んだ方で、仕事を休んだ日の給与の支払いを受けない方。

令和2年第2回定例会出欠表

日 程	属	田 寄	石 谷	橋 本	小 松	尾 崎	木 戸	沼 口	朝 部	高 津	堀 江	楠 木	日 比 生	木 村	原 田	皆 川	浦 田	矢 野
6月5日 本会議第1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月15日 本会議第2日	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
6月16日 本会議第3日	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は出席 ●は欠席

常任委員会報告

各常任委員会で審議した主な質疑
応答・意見などをご紹介します。

総務文教常任委員会報告

委員長 木戸 勝正 **副委員長** 石谷 光信 **議長** 矢野 博文
委員 朝部 壽・楠木 静則・木村 幸治・浦田 光由
所管課 総務課 / 出納室 / 財政課 / まちづくり総合政策課 / 税務課 / 学校教育課 / 生涯学習課 / 支所 / 議会事務局

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 交通安全対策費の高齢者安全運転支援装置設置の申請方法は。

答弁 7月の広報で周知をする。実施は8月1日以降から申請受付業務を開始する。

質疑 地方創生臨時交付金事業費18節負担金補助及び交付金のプレミアム商品券助成金について尋ねる。プレミアム商品券については補助率10%が20%になっているが金額的には。

答弁 補助額（プレミアム率）が200万円の設定になっており、当初予算の140万円に60万円を今回計上して20%とさせていただいている。

質疑 枚数は何枚か。

答弁 1万円を2千冊（2千万円分）。

質疑 事務局費のイングリッシュサポーター報酬の内容容は。

答弁 今年の指定校は方城中学校であり、英語教育の重点課題授業に伴うサポーター員の報酬である。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

厚生常任委員会報告

委員長 堀江 政洋 **副委員長** 尾崎さつき
委員 属 紀三嗣・田寄みゆり・小松 繁信・矢野 博文
所管課 住民課 / 福祉課 / 人権・同和対策課 / 保健課 / 診療所

主な質疑

福智町手数料徴収条例の一部改正

質疑 個人番号通知カードの制度廃止により、再発行手数料が発生しなくなったことは理解できるが、これからマイナンバーカードを作る方も通知カードがなくても発行できるということか。

答弁 番号法施行令の一部改正に伴い、令和2年5月25日付けで個人番号通知カードの出生の新規発送や紛失による再発行が出来なくなったため、5月25日以降に生まれた方には紙媒体で番号が記載されたお知らせの通知を送付する。通知カードがなくてもできる。

質疑 5月25日以前に生まれた方で紛失したものはどうなるか。

答弁 今後は再発行ができないので、マイナンバーカードを作るように促進する。通知カードがなくてもできる。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

産業建設常任委員会報告

委員長 橋本 騰馬 **副委員長** 沼口 富生 **議長** 矢野 博文
委員 高津 鶴己・原田 幸美・皆川 高司・日比生 洋一
所管課 建設課 / 農政課 / 住宅課

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 農業振興費18節負担金補助金及び交付金イノシン等被害防護設置助成金の388万3千円について尋ねる。年度当初の9万円からどうしてこれほどの増額補正となったのか。

答弁 当初は電気柵助成で町の単独事業であった。今回の補正は県費事業の鳥獣被害防止総合支援事業でワイヤーメッシュ柵を購入する助成であるため、事業内容が異なる。この事業については、今年度このほかの増額はない。

質疑 具体的な設置場所はどこか。

答弁 神崎地区2件、井城地区1件。

その他の案件

質疑 空き家対策等について尋ねる。過去の調査では500件超の空き家があったと記憶しているが、直近の調査結果はないのか。

答弁 平成30年4月の福智町空き家対策等計画では447件で、令和元年2月に精査した結果129件減少し318件である。

質疑 家屋が倒壊若しくは倒壊しそうな廃屋が見受けられるが、これらは固定資産税の支払いはいさ

んとされているのか。

答弁 固定資産を課税されている納税義務者に対して毎年、納付書発行時に対象物件の課税明細書を同封している。本人、家族の方が課税明細書を確認した際に倒壊している、この物件はないという相談がある。その場合に担当職員が現地確認を行い、対応している。

質疑 所有者が死亡し、相続登記がなされていない土地又は家屋について、相続人等を特定し、税金徴収を適切に行っているか。

答弁 親族の方が町に死亡届の手続きにきた時に税務課を案内していただき、納税管理人の設定手続きを行っている。

質疑 補助金・助成金を受ける団体の繰越金の返納について尋ねる。かつて補助金・助成金を受けた団体及び福智町役場に警察の捜査が入って事業計画及び報告が強く求められることは理解でき

るが、助成金を受けている団体で年度末に繰越金がある場合に町に返納させる根拠は。赤字決算となった場合、町が補填するのか。

答弁 団体に対する補助金助成金につ

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

一般質問

(令和2年第2回定例会)

議員7人が町政を問う

一般質問は、町の行政全般にわたって、町長や教育長などに、方針や説明を求めるものです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
本議会での傍聴をお待ちしています。

質問者	質問事項	ページ
木戸 勝正	水道料金の滞納者への対応について 教育委員会の小中学校の業務内容について 防災行政無線について 新型コロナウイルス対策の取組について 生涯学習課の人権教室及び保健課の隣保館教室の業務内容について 総務課の業務内容について	7
朝部 壽	公営住宅について 新型コロナウイルスの対応策について 公共施設のAED設置について	8
高津 鶴己	ふるさと納税の用途等について 行政区の存続及び地域コミュニティ活動の充実について 新型コロナウイルス感染症に伴う学校教育について 公共工事の入札及び契約の適正化の促進について	9
田寄みゆり	コロナウイルスで災害対策どう変わる？ 小中学校ようやく再開子ども達大丈夫？ 学童クラブ慰労金全員に支給を	10
尾崎さつき	学校再開後の教育体制について 学校給食における給食費の対応について 災害時の避難所の感染防止対策について	11
属 紀三嗣	緊急事態の対応と災害に強いまちづくりについて 金田義務教育学校について 福智町の未来について	12
木村 幸治	新型コロナウイルス対策を問う 赤池中学校市場地区通学路工事の進捗は 金田義務教育学校新校舎建設工事は	13

※各議員が質問した事項の中から抜粋して掲載しています。

議会を傍聴しませんか！！

本庁舎4階の傍聴席入り口で、住所、氏名等を受付票にご記入いただき、受付箱に投函のうえ議場傍聴席にお入りください。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。(☎0947-22-7772)



木戸 勝正議員

水道料金の滞納者への対応について

問 平成30年度決算未納額は、旧金田533件、7588万3062円。旧赤池536件、7430万8181円。旧方城374件、4千565万810円の合計で1443件、1億9584万2053円あるが、悪質滞納者に対して法的措置又は水道を停止にしているか問う。

答 町長

平成30年決算時点は給水停止措置は行っていないが、平成31年4月から田川広域水道企業団で管理運営を行うため、条例及び滞

納整理事務取扱要領に基づき実施する。悪質対応は、田川広域水道企業団で給水停止が行われるものと判断している。

教育委員会の小中学校の業務内容について

問 各小中学校の給食費の滞納件数と滞納額を尋ねる。

答 教育長

平成18年度以降の滞納者数は1291件、総額3976万2858円。

問 多額の滞納額になっているが、保護者への対応処置はどのようになっているか。

答 教育長

未納分については督

促状を送付し、訪問を実施、又児童手当からの天引きをお願いしている。

問 教職員の滞納はあるのか。

答 教育長

教職員及び関係者は給料から天引き、滞納はない。

防災無線について

問 町内に高齢者や障がい者の独り暮らしの家庭が多く、防災無線が聞こえないとの通報が多い。防災行政無線の戸別受信機を設置してはどうか。

答 町長

その対策としては、放送内容を簡潔にし、ゆっくり話すよう心がけているが、聞こえづらい申し出があれば、現地調査、スピーカー調整の後、改善されなければ戸別受信機の貸与を行っている。

新型コロナウイルス対策の取組について

問 特別定額給付金は、1人10万円支給さ

れ、他町村は自治体の追加支援を実施しているが、福智町の支援計画の内容は。

答 町長

町独自の支援策については議案第45号補正予算に計上している。

生涯学習課の人権教室及び保健課の隣保館教室の業務内容について

問 人権教室及び隣保館教室の緊急事態宣言解除後の取組について、福岡県の緊急事態宣言が解除されたので再開してはどうか。

答 町長

緊急事態宣言は解除されたが感染症が治まっていないため、各教室の再開についても国が示すガイドラインを参考に感染症予防対策を講じながら徐々に再開を考えている。

問 各教室20人以上の教室もあり、ウイルス

感染の確率も高いので、会場の設備を整える等、再開

に向けて担当の考えはどうか。住民は早い再開を望んでいるが、今後の新しい教室のやり方を講師団と協議しながら前向きに検討すべきではないか。

答 町長

再開は準備を整えていくとご理解いただきたい。

総務課の業務内容について

問 総務課業務内容、令和2年度の福智町の補助金助成金について、94団体の予算額は26億6865万円計上しているが、その内訳を問う。町民が汗水流しての血税なので、削れる所があれば、もう少し検討してはどうか。

答 町長

これら補助金助成金については、各団体と活動内容を精査し、削れるだけ削って決定した額となっているので、ご理解いただきたい。今後も抑制の方向で毎年検討していく。



朝部 壽議員

公営住宅について

問 公営住宅法では「国及び地方公共団体が協力して健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、困窮する定額所得者に対して低廉な家賃で賃貸すること、また、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること」を目的とする」とあるが、間違いないか。

答 町長 ご指摘のとおり。

問 町内の公営住宅は現在何ヶ所か。旧3町の全世帯数は。

答 住宅課長 現在51団地で世帯数は1817世帯である。

問 今後建替えをするのはどの団地か。赤池の小藤団地や伏原団地はかなりの年数が経つが。

答 町長 福智町長寿命化計画で今後の建替え計画は、赤池の高尾団地と、方城の東長浦団地と承知している。

問 前町長は小藤団地や伏原団地の建替えを公約に掲げていたが。

新型コロナウイルスの対応策について

問 4月に緊急事態宣言が発令され7都府県に福岡県も指定された。現在県下では、死亡者が31名、感染者が820名、お亡く

なりになられた皆様にご冥福と感染者の方々にお見舞いを申し上げる。10万円の定額給付金が支給されることになり、各家庭に申請用紙が配られたが、申請期限はいつか。

答 町長 申請期間は3ヵ月で、8月11日までの3ヵ月間。

問 定額給付金の支給はどこまで進んだのか。

答 町長 6月11日現在、1万1221世帯、町民2万2528名が対象で、約96・8%の2万1808名の方へ支給が完了している。

問 残りの方への対応はどうするのか。

答 町長 通知の届かない方や入所、入院されている方、福智町に住んでいない方が残っている。

問 緊急事態宣言により経済打撃は計り知れない。田川市郡では今のところ感染者はゼロだが、収

入が激減し生活が困難になった事で相談があったか。

答 町長 コロナが原因で失業された方が1件、あとは生活保護の申請が増え、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度では、6月9日現在248件の相談があり、その内緊急小口資金は85件、継続的に助けが必要な総合支援資金は29件貸付を行ったとの報告を受けている。

問 町内には高齢者の方が多く、防災無線が家の中までは聞こえない方もいる。そんな方には別の方法でも情報発信を行ってほしい。事業持続化給付金について今回補正予算を組んだところだが、各自治体ではいち早く支援金を町独自で行っている。福智町は町長が就任して1年経過した中で、リーダーとしての政策をそろそろ打ち出してはどうか。給付金で売上50%以上減少は国、30%以上減少は県とあるが、30%

以下の場合はどうなるのか。

答 町長 30%以下の方も当然救済の考えで、商工会に取りまとめをお願いしている。周知方法は広報紙も良いが、緊急の場合は行政区長等に依頼し一早く周知していただきたい。

公共施設のAED設置について

問 毎年高齢者が増加し、持病を抱える町民が体調を崩し心肺停止を確認した時のため、救急車が到着するまでの対処として、AEDが各施設にあれば尊い命を救うこともできるため、必要と考えるがどうか。

答 町長 全施設に設置の考えはないが、効率よく機能する施設には増やしていく予定だ。

意見 町民の安心安全のため、ちづくりの観点や尊い生命を守る責任からも設置をお願いしたい。

ふるさと納税の使途等について



高津 鶴己議員

問 平成20年にふるさと納税制度ができて、平成29年度は17億5千万円

のふるさと納税をいただいたが、これまでの累計額はいかほどか。

答 総務課長 平成27年度からふるさと納税額が本格的に増えて、令和元年度末まで62億円の寄附金を頂いており、事業費に充当した残りが23億3千万円である。

問 具体的な使い途はどうなっているか。

答 町長 ふるさと納税事業



▲ふるさと納税返礼品として推奨する赤池梨

行政区の存続及び地域コミュニティ活動の充実について

問 高齢化が進み行政区の役員になり手がない、役が回ってくるなら行政区から脱退する、行政区に入ってもいろんな役目・役割等があつて何のメリットもない等々、行政区に加入している人は2割というところも出てきて行政区の存続自体が危なくなつてきている。行政区が負担する防犯灯の電灯料が行政区の会計の中で大きな経費を占めている。長寿命で電気代も安い防犯灯のLED化の推進を以前から要請し

てきたが、現在LED化率はどれくらいか。

答 町長 防犯灯及び街灯合わせて3530台あり、1330台がLED電灯になっており、LED化率は38%である。

問 行政区への加入率を町は把握しているか。

答 町長 赤池地区80・8%、金田地区91・9%、方城地区83・8%、全体で85・5%である。

問 防災対策、避難行動等で自助・共助・公助が叫ばれているが、地域コミュニティがなくなりかけている。この状況について町長はどう考えるか。

答 町長 地域コミュニティは重要・不可欠なもので、自主防災組織の設立、支援を継続的に行いながら、平常時のコミュニティの強化につなげていきたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症に伴う学校教育について

問 3月2日から5月18日までの一斉休校の期間中、昼間保護者が居なくて児童生徒だけの家庭の場合、スマホをいじってゲーム依存症になつていないか心配しているが。

答 教育長 スマホ、ゲーム等で生活のリズムが多少狂つてきて心配な子も少しいた。学校再開後スクールカウンセラー等の指導によりスムーズに取り戻している。

問 近隣自治体では1人1台のタブレット端末の購入を予算計上しているが、福智町はどうするつもりか。

答 教育長 ICT教育、オンライン学習にも新しいタブレット端末を導入すべきと考えており、次回の補正予算で提案したい。



田崎みゆり議員

コロナウィルスで災害対策どう変わる？

問 コロナ感染が収束していない状況で、災害対策は大きく変つていくのか。町の対策は具体的にどう変わり、どこまで進んでいるのか。

答 町長 ホームページや広報で避難行動をお知らせする。密にならないため、避難場所を現在の3か所から7か所に増やして対応。発熱者のスペースも確保する予定。

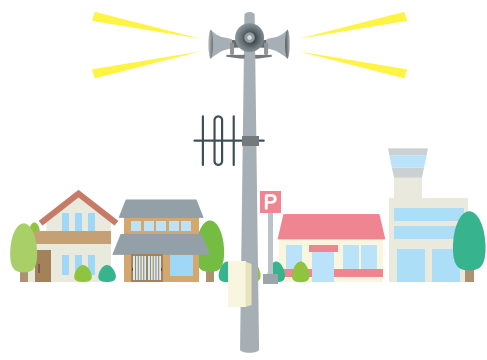
い福智町では事前の計画が必要ではないか。支援が必要な人、支援できる人はどのくらいいるのか。

答 町長 避難行動要支援者台帳に登録された方は1518名だが、70歳以上の独居者・要介護者や障がい者は5541名。

問 誰が誰をいつ助けるかなどのご近所での協力が必要だが、支援計画はできているのか。

答 町長 行政での準備は厳しいが、各行政区の区長や民生委員・消防団で情報共有していきたいと考えている。

意見 在宅避難という考え方も出てきた今、地域のネットワーク作りが必要。町は行政区への加入を増やす努力や災害対策のための学習会を行い、助け合える町づくりを進める必要がある。



小中学校ようやく再開子ども達大丈夫？

問 学校再開後も感染への不安から自主休校している児童はいるのか。

答 町長 持病などで4名休校中。本人・家族と連絡を取り、学習指導や心のケアを行っている。

問 突然の休校で子ども達にもストレスが掛かった。家族の負担で家族関係の変化も心配される。登校後の子ども達に変化は見られるか。また、コロナ対策はどうしているか。

答 町長 学校でも子ども達の心を心配し、きめ細かい対応を心掛けていく。スクーリングやソーシャルディスタンスが教師と相談しながら対応している。コロナ予防のため、検温や手洗い・マスク使用などを行っている。



問 学習の遅れが心配されるが、今はまず、子ども達の心を大切に受け止め、寄り添うことが重要である。生活リズムを整え

行事を再開することで、子ども達が元気に通える学校づくりを行って欲しい。

学童クラブ慰労金全員に支給を

問 小学校休校中に朝から児童の見守りを行っていた学童クラブ職員に対し慰労金が予定されているが、全員に出ないのか。

答 町長 条件に入らない方には出ない。一定の基準・線引きは必要と考える。

問 大変な時期を頑張ってくれたスタッフ全員に、何らかの慰労をしてほしい。職員も不安と闘いながらチームで乗り越えたと言っている。若い人の頑張りを町として認められないか。

答 町長 町からということではできないので、学童クラブ運営費から検討していただく。

答 町長 福智町として避難所運営マニュアルコロナ対策編を作成している。

問 ガイドラインの周知方法を尋ねる。

答 防災管理・管財課長 ホームページで職員向けに周知している。

意見 従来よりも多くの避難所を設置する必要があり、運営する職員の方々にも大変な作業になると考えるが、より安全を確保できる避難体制を要望する。

学校給食における給食費の対応について

観点から、新型コロナウイルス感染症対策に関する衛生マニュアルに基づいて、基本的な感染症対策、集団感染のリスクへの対応、教育委員会、学校、家庭と連携をして、密に協議を重ねていく。

問 今回、学校で給食が中止になったその中で、就学援助における給食費の取り扱いが、自治体によつては給食費相当分を支給するところもある。就学援助を受けている準要保護世帯の給食については、一般財源化されているので、自治体任せになっている。福智町として就学援助制度を対象とした休校中の給食費相当分を支給する考えはあるか。

答 教育長 現在のところ考えていない。

問 4月28日に今回の新型コロナウイルスに關する緊急要望書を町長に提出した。要望書の5項目に示していたが、準要保護世帯に行くはずだった給食費は、予算計上しており、新たに計上するものではない。大変な思いをしている家庭に給食費相当額の支給を実現できるよう強く求める。

災害時の避難所の感染防止対策について

問 6月12日に成立した国の第2次補正予算のメニューの中に、災害時の避難所での感染拡大を防ぐための備品の備蓄強化が盛り込まれており、地方創生臨時交付金活用等で準備している備品では十分ではないと思う。第2次補正予算を活用し、新たに準備してもらいたい。避難所開設時の感染防止として、ガイドラインの作成があると思うがどうなのか。



▲災害時の避難所で活用した段ボールベッド

学校再開後の教育体制について



尾崎さつき議員

問 コロナの影響で異例の長期休暇は、子ども達の生活や学習面に限らず、心にも複雑な多様な影響を与えている。細かな配慮でよいスタートを切らせてあげる観点から、今年度の3学期制の日程と授業日数の確保についてどのような計画なのか尋ねる。

答 教育長 授業日数は、夏休みの短縮、冬休みの短縮で確保する。かなり詰めた協議をしたが、土日の出校は考えていない。行事等については検討中である。

問 感染症対策で外出自粛を強く求められる等、例年と事情が大きく異なる長期の休み明けで、教育現場はささいな変化を見逃さず必要に応じて心のケアに取り組む必要がある。今後どのように取り組んでいくのか。

答 教育長 学校のスクールカウンセラーや養護教員と協力し家庭と連携しながら徐々に対策を打っていく。

問 今後学校での感染防止に向けた新しい生活習慣の取り組みを尋ねる。

答 教育長 国の感染対策による

答 教育長 国の感染対策による



属 紀三嗣議員

緊急事態の対応と災害に強いまちづくりについて

問 新型コロナウイルスについて課題と解決方法を問う。対策本部の動きも併せて問う。

答 町長 対策本部は2月28日に設置し随時開催している。マニュアル通りの動きではなく、町独自の対応と柔軟な対応が取れる体制づくりが課題である。

問 町独自の施策が他に比べ遅い点、緩和モードの対策、卒業式の短縮等の対象者に寄り添った対応、議会招集等議員への協力

力要請が無かった点についての考えを問う。

答 町長 議員への呼びかけ等反省している。今後、委員会に要請する等考える。卒業式等は学校現場の状況で決断した結果であるため、ご理解頂きたい。

問 支援策について可決後の周知方法を問う。

答 町長 議会でも承認頂ければ、早速、取組みたい。今回上程された対策に漏れた対象者についての検討事を問う。

答 町長 今回の支援策以外の分は、その都度検討したい。

問 新型コロナウイルスの影響による増額補正の予測を問う。

答 町長 現在増額は想定していない。

問 過去の水害で対応が出来ていない箇所と今後の対応を問う。

答 町長 1つは消防署金田分署前の県道で、道路の排水許容量を超えた事で県土事務所と今後の検討課題。2つ目は市場の草場地区で遠賀川の河川事務所と協議中であり、早々に提案出来る。

問 大規模災害が起きた場合の対応を問う。

答 町長 ボランティアセンターの設置・運営は、社会福祉協議会が行う。また、県のボランティアセンターとも連携しながら、コーデイネーターや有識者の派遣も含めて、迅速にニーズに合った対応をする。

問 関係機関や団体等、協力体制を問う。

答 町長 国の関係機関、国土交通省、県土事務所、気象庁、自衛隊を含めて合同で班を組める形を考えている。

金田義務教育学校について

問 校舎と校庭以外の工事の進捗を問う。

答 学校教育課長 外構工事及び倉庫の関係が一部残る。また、未施工の通学路が1ヶ所ある。

問 小中一貫校と義務教育学校の違いを問う。

答 教育長 小中一貫校は、独立した小中学校であるのに対し、義務教育学校は、1つの学校となる。1つの教職員組織として、児童生徒の教育に取り組むことが出来る。

問 義務教育学校での従来と違う教育体制やプログラムを問う。

答 教育長 教育委員会の判断で独自の教育課程の実施や、小・中学校段階の指導内容

の入れ替え等の教育課程の特例的な活用が可能である。登校距離が長くなるが対応策はないのか。

問 学校教育課長

答 国の基準の範囲内であり、現在のところスクー

答 町長 通学を歩く元気な子どもを育てるという理解の中で、バス電車等は使わな

いという判断に至った。

福智町の未来について

問 福智町には様々な課題があるが、どの様なまちづくりを目指すのか将来のビジョンを問う。

答 町長 福智町は、鉱害地域で炭鉱という中から、炭鉱から観光へという、キャッチフレーズで考えている。交流人口を増やし、関係人口へと導き、それを定住人口へと繋げる。多くの方々に福智町へ目を向けて頂く手だてを考えることが自分に課せられた使命である。

問 未完成のままの場合、どうするのか。

答 学校教育課長 安全対策を講じて、2学期から開校する予定である。

問 未完成のままの場合、どうするのか。

答 町長 八幡免・塚坊線道路改良工事については、今月相手方と会って同意を求めたところであるが、まだ時間がかかる。引き続き地権者に同意を求めていく。

金田義務教育学校新校舎建設工事は

問 町長は本会議初日に1学期中には完成したいと言っていたが、現在の進捗状況は。

答 学校教育課長 校舎棟、大体育館、小体育館、プール棟は完成している。学童保育と、グ



▲完成した校舎棟

新型コロナウイルス対策を問う

問 政府の緊急事態宣言は解除されたが、福智町では今まで感染症予防対策として、どのようなことを行ってきたのか。

答 町長 福智町では各公共施設の入口にアルコール消毒液を設置し、会議中はマスク着用等の感染予防策を周知して対応してきた。

問 今言われた他にも窓口にアクリル板を設置する等対応をしたようだが、時期が遅かったかなと思う。最近では北九州市や中間市といった福智町の近



木村 幸治議員

隣市町村でも感染者が発生しているが、田川市郡では本当に感染者はいないのか。筑豊地区で感染症指定医療機関に指定されている田川市立病院は現在どのような状況なのか。

答 町長 感染者については保健所から連絡を受けるようになってきているが、今のところ田川地域で感染者が出たという連絡は受けていない。田川市立病院の状況については把握していない。

問 教育現場での対応はどのように行っているのか。

答 教育長 学校に来たときは必

ず検温し、マスク着用を義務付けている。手洗い、消毒、換気を行い、班学習は避け、感染対策に努めている。

問 家庭で検温して37℃以上あれば休ませていると聞いたが。

答 教育長 家庭でも学校でも検温している。サーモグラフィーで体温を測定しているところもあるが、福智町では導入しないのか。

答 町長 今のところ教育長が説明した方法で対策を行っている。

問 公民館活動ではどのような影響が出ているのか。

答 生涯学習課長 高齢者大学が現在のところ延期、各種団体の体育行事や総会等が中止、赤池のクリーン作戦が中止と報告を受けている。

問 赤池地区以外はクリーン作戦は行っ

いないのか。

答 生涯学習課長 方城地区、金田地区は一斉清掃を夏と秋に行っている。

赤池中学校市場地区通学路工事の進捗は

問 前回も質問した市場地区から赤池中学校への通学路について、工事進捗状況を尋ねる。

答 町長 八幡免・塚坊線道路改良工事については、今月相手方と会って同意を求めたところであるが、まだ時間がかかる。引き続き地権者に同意を求めていく。

問 町長は本会議初日に1学期中には完成したいと言っていたが、現在の進捗状況は。



▲完成した校舎棟



表紙の紹介 伊方小学校 児童会活動中です

わたしたちは伊方小学校児童会です。小学校の児童会は5,6年生が参加する委員会がその役割を背負っています。伊方小学校の委員会活動は6つの委員会に分かれています。毎月1回、計画や運営について話し合い、学校を楽しく、明るくするために各担当の仕事に取り組んでいます。

今回は計画委員会の活動の様子を見ていただきました。計画委員会は児童会の中では議会のような役割をしています。小学校では「代表委員会」というクラスや委員会の代表が集まり自分たちのよりよい学校生活について話し合いを行います。その議題を考えたり、司会や記録を行ったりするのが計画委員会の役割です。毎月の議題が決まると司会の練習や話し合いの準備に昼休みまで使ってがんばっています。これからも伊方小学校のみんなが「楽しい」と思える学校になるよういろいろな計画を立てていきたいと思います。

金田義務教育学校

8/31
いよいよ開校



編集後記

この議会だよりが皆さんの元に届いたところ、コロナウイルスは治まっているでしょうか？私たちの暮らしは元に戻っているでしょうか？

東京の感染拡大が毎日報道され、田川郡内でも感染者が出た状況の中で、この原稿を書いています。しかもこの数日、九州全体で梅雨の大雨による災害が起きました。毎年酷くなる水害に町民の方からも、不安の声が届いています。

行政の仕事は町民の命と暮らしを守る。コロナと災害、熱中症の三重苦の中、この夏を皆さんが無事に過ごせるように、私たち議員も皆さんの声を届けながら、町と協力していきまします。困ったときはぜひ声を掛けてください。

さて、今号から表紙に子ども達の元気な写真を使わせていただくこと、学校訪問を始めました。子ども達の話を聞くとうと訪問したら、逆に鋭い質問を受けびっくりです。みんなの真面目な視線にたじたとになりながら、何とか交代で答えましたが、子ども達の発想の面白さ・真剣さ・可愛さに、議員一同感激しました。やっぱり子ども達は地域の宝ですね。他の学校にも行きますよ。

待ってね。

田寄みゆり